自由民主党 神戸市会議員団
市政NEWS
長田区版
2022春号
【発行】自由民主党神戸市会議員団
神戸市中央区加納町6丁目5-1
神戸市役所1号館28階

【編集】
長田区選出 4期目
自由民主党神戸市会議員団 幹事長
平井 まち子

令和4年度予算を承認し 2月市会が閉会

3月1日の本会議におけるウクライナ侵攻に対する非難決議の採決

[市会レポート 令和4年 第1回定例市会（2月議会）]

令和4年2月定例市会が2月17日から3月29日の期間開かれ、令和4年度当初予算と、2月補正予算を中心に審議を行いました。令和4年度予算案は、コロナ後を見据えた神戸の持続的発展を目指し、神戸市が抱えていた課題を精査し、その行政課題に沿ってこれからの神戸の指針を示すものであることなどを評価し、予算案を可決しました。

予算の概要

総額 1兆8,804億円 前年比プラス273億円
一般会計 8,869億円　企業会計 3,330億円　特別会計 6,605億円

神戸市予算 ［神戸市予算 検索］
神戸市会HP ［神戸市会 検索］

令和4年度予算　主な新規・拡充施策

※一部2月補正予算も含みます

1 コロナとの戦いに打ち克つ

- 保健所・研究所機能の強化
  病原細菌解析に高性能検査機器を導入
  保健師の増員
- 生活困窮者への相談会実施
- KOBEお買い物キャンペーン

生活相談会
学生がスタッフとして参画
物資の提供を通じたつながりの場
レトルト食品、生理用品、神戸の生鮮野菜や果物等　3回で約2000人分提供
・経済的な相談
・仕事の相談
・法律相談

●特設WEBサイトと巨大ガチャによるキャンペーンPR
●地場産品が当たるデジタルビンゴによる大抽選会

2 健康・安全を守る

- 看護大学の入学金を半額に、市内就職に奨励金
- 子宮頸がんワクチンの接種機会充実
- コウベdeカイゴの推進
  初任者研修の受講費補助、賃上げの支援 等
- 銭湯への支援
- 外部給電・神戸モデルの導入

●市内大学生が無料！
※3ヶ月間の試行実施
何回でも利用可能に！
●18歳以下の子供無料！
子供1人につき大人1人半額
※インターネットで事前登録が必要
［神戸市 銭湯 割引 検索］

電気自動車から避難所へ給電するしくみを避難所指定の全ての小・中学校へ

3 温もりのある地域社会を創る

- 高校生等の通学定期券補助
  月12,000円を超える費用の1/2を補助
  ※別途ひとり親家庭の高校生へ全額補助を実施中
- こべっこランドの移転拡充
- 妊婦への支援の充実
  助産師による訪問支援
  オンラインによる両親学級の実施
- 全員喫食の中学校給食に向けたセンター整備
- こども・若者ケアラーへの訪問支援
- 神戸高専の教育充実と神戸市外大との同一法人化
- 大学都市神戸の強みを活かした産学官共創の推進
- 地域課題解決に資するNPO等を支援

保温食缶による温かい給食

※本来受けられる障害福祉サービス等へ移行するまでこどもケアラー家庭に家事等のヘルパーを派遣　月4回無料で利用可能
当事者、市民の方など気軽にご相談ください。
078-361-7600
carer_shien@office.city.kobe.lg.jp

4 のびやかなくらしと環境を創る

- 須磨エリアの活性化
  須磨・淡路間の航路、次世代モビリティ導入
  スケートパーク・ドッグランを設置
- 空き家の再生・移住促進
  子育て応援住み替え補助
  建築家との協働による空き家活用支援
- 里山・農村版「空き家おこし協力隊」の創設
- 生物多様性の啓発拠点をクリーンセンターに整備
- KOBE脱炭素地域活動支援制度
- 水素エネルギーの利活用
- カーボンニュートラルポートの形成
- アートビレッジセンターのリニューアル

空き家　地域活性化のため建築家を起用した質の高い空き家活用の設計・工事費1/2補助（上限500万円）
移住　未就学の子がいる、または若年夫婦世帯
市外から移住　最大25万円
団地活用型　最大35万円
リノベ型、宅地購入型、建替え型も継続

市バスへの燃料電池バス導入

5 力強い神戸経済を創る

- 市内中堅・大企業と中小企業とのマッチングプログラム
- ファッション産業の支援
- 神戸のブランド力を高める観光誘客・周遊促進
  観光地にパブリックアート
  首都圏にドア設置
- スタートアップの創出支援

神戸らしいファッション文化を振興する条例に基づく神戸ならではの地場産業支援
●地場産応援クーポン
最大3割引、1人3万円まで
●灘の酒を飲もう！キャンペーン
●「アパレル」を学ぶ市内学生支援

6 未来に輝く神戸の街を創る

- 三宮・ウォーターフロントの再開発
- 都心・三宮に「自然の景」創造
- 地域の特性を活かす駅周辺リノベーション
- スタートアップの創出支援

		R4年度	R5年度	R6年度
新長田駅	新長田駅	工事	完了予定	
	駅前広場	設計等	工事着手	供用開始目標
地下鉄長田駅	駅前空間・駐輪場の再整備	設計・工事	供用開始予定	

7 DX の活用による市民参加を進める

- 市民向けポータルサイト「スマートこうべ」
- 行政手続きのスマート化
- 区役所会計機能を本庁に集約

スマート化率 目標70%
［スマートこうべ 検索］

ロシアによるウクライナ侵攻に抗議の意思表示

3月1日に臨時本会議を開き、ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議案を全会一致で可決しました。

決議採択と同時に神戸市と神戸市会の連名で、緊急支援金としてユニセフに1,000万円を拠出。その後、神戸市会からも災害等見舞金基金より100万円を、また市会決議に賛同する市民の方からのお申し出による60万円を同時にユニセフに寄付しました。

メリケンパークの「BE KOBE」モニュメントとポートタワーがウクライナの国旗のカラーにライトアップされました。

議会改革検討会で議員定数減を自民党から提案

「議会制度検討会」を設置し、議会の課題について議論を行いました。自民党からは同規模の人口の政令指定都市との比較や行財政改革の観点から、**議員定数を9名減らして60名とすることを提案**。共産党とつなぐは定数減に反対し、意見が一致せず、今後賛成する会派間で協議を継続することになりました。

合意された改革項目

- 議長が議会の諸課題の解決に積極的に取り組むことを条例に明記
- 広報委員会（仮称）を設け市民理解を進める

予算特別委員会から

平井真千子の質疑項目を抜粋して紹介します。

令和4年度予算案について審議する予算特別委員会が設置され、3つの分科会に分かれて局別に審査を行いました。平井は健康局、環境局、福祉局、建設局に対して質疑しました。

健康局

子供のマスク着用への対応

質問 厚生労働省は2月のはじめ、2歳以上の子供を想定して、保育所等でマスクの着用を推奨するとしたが、小児科医らからも安全性に疑問の声があがり「着用が難しければしなくてよい」と見解を出し直す対応となり、混乱している。神戸市はこれまで、子供のマスク着用についてどのように対応してきたのか。

答弁 1人1人の状況を踏まえる必要性から、一律に着用を求める対応はしていない。マスク着用以外の、手指消毒やおもちゃの消毒、換気などの感染防止対策を優先している。

小児がんに対するケア

質問 小学校で行われるがん教育は、大人のがんを予防するための生活習慣の改善が主な内容だ。小児がんは健診などで早期発見できず、生活習慣に関係がないなど、成人のがんと全く異なる。闘病した児童に対し、学校の先生や友達が偏見を持つことなく友達への適切な配慮ができるよう、小児がん教育も必要と考えるがどうか。

答弁 2校においてチャイルド・ケモ・ハウスから講師をお招きしたり、小児がんの当事者の体験談に学ぶ授業を行った。今後も教育委員会と連携しながら進めていきたい。

環境局

路上喫煙の禁止の啓発

質問 「神戸市ぽい捨て及び路上喫煙の防止に関する条例」により、市内全域で路上喫煙を禁止（努力義務）しているが、まだまだ浸透していない。禁止区域以外にも巡回指導を強化されるとのことだが、同時に改めて条例の周知に取り組んではどうか。

答弁 健康増進法改正で学校や病院、官公庁の敷地内禁煙、県の条例で屋外の公共空間でも禁止されるなど、たばこの規制が広がってきた。それぞれの所管部局が説明してきたが、環境局も中心になり周知に努めたい。

生物多様性保全の学習拠点

質問 クリーンセンターを活用し、新たに小学生の見学を想定した外来種や有害動植物の展示を行うということだが、ただ単に動物の剥製を置いて、危険を訴えるだけでは子供達に動物は恐い、嫌いという感情を植え付けて終わる。身近な動物への関心や興味を養うことで、生物多様性保全への理解が進む展示であるべきではないか。

答弁 複雑で微妙なバランスで成り立つ生態系は、外来生物や人間の活動によって崩れやすいことが分かるようなコンセプトで展示を考えている。専門知識を持ち、環境学習の経験のあるようなスタッフを揃え、丁寧な説明ができるようにしたい。

3月3日の環境局審査での質疑

議事録、録画は神戸市会ホームページ ▶http://www.city.kobe.lg.jp/sikai/

福祉局

各種申請における配慮が必要な方への対応

質問 くらし支援臨時特別給付金の申請書で申請者の氏名を「自署」と指定する欄があった。視覚障害者の方が困られ、繋がりにくいコールセンターにかけ、「代筆で記名と押印で良い」と確認できたが、過去の給付金では「自署」に限定しておらず、なぜこのような対応になったのか。

答弁 利用者の負担軽減や利便性の向上のため、令和3年4月より申請書等への押印の原則廃止が進んで、自署を今回お願いした。障害のある方への文書の作成の手法について、庁内周知もできるように所管部局と調整をしていきたい。

コロナ禍における高齢者の社会参加

質問 新型コロナの影響で高齢者の方の外出や社会参加の機会が激減した。外出を我慢し心も体もストレスがかかり、認知症やフレイルの進行が懸念される。ふれあい喫茶など再開が難しいが、感染防止を講じながら、地域の交流事業や、「つどいの場」事業の再開を支援する必要があるのではないか。

答弁 「生きる楽しみがなくなった」とのアンケート回答もあり、外出をして人と交流していただくのが重要。過度に外出を控えることのないよう、民生委員の方や安心すこやかセンターを通じて広報をしてきた。スマートフォンを活用したオンラインカフェなど新しい手法も取り入れながら、従来の対面の場も支援していきたい。

建設局

地下鉄長田駅周辺のリノベーション

質問 葺合南54号線やサンキタ通りでは人を中心にした道路活用で新しい街並みを生んでおり、各地の駅周辺でも都心三宮同様に取り組んでほしい。地下鉄長田駅の再整備も、単なる美装化やベンチを置くだけでなく、その後の活用について管理のルールありきでなく市民の想いを受け止め取り組んでほしいが、どうか。

答弁 駅と周辺が一体となり、人に使いこなされる自由度の高い空間とすることで街のブランド力の向上に繋げることが、駅前リニューアルに共通する考え方だ。長田駅でも道路管理者としての視点だけでなく街をどうデザインしていくのか考えて取り組んでいきたい。

お問い合わせ連絡先
自由民主党 神戸市会議員団　中央区加納町6-5-1 市役所1号館28階　電話 078-322-5846　Fax.078-322-6164
平井まち子事務所　長田区五位ノ池町3-9-30　Tel＆Fax 078-643-0647（電話は月〜金 9時〜17時）　machiko.h@earth.ocn.ne.jp
市政へのお問い合わせ　神戸市総合コールセンター ☎078-333-3330（年中無休 8:00〜21:00）